

「保健体育」学習指導案

1. 日時 令和元年12月11日（水） 第6・7時限（13:30～14:20）
2. 場所 体育館
3. 学部・学年・組 中学部 第1～3学年 A・B班
4. 単元名 「ボッチャ」
5. 単元目標 ①各自の課題に応じた内容で練習やゲームに積極的に参加できる
②友だちと協力し、楽しく練習やゲームに取り組むことができる
6. 生徒観
(略)

7. 教材観

ボッチャは、重度の脳性麻痺者や重度の障がいがある人のために考案されたスポーツであり、近年では障がいの有無に関わらず、誰でも楽しめるスポーツとして注目されている。ボッチャはほとんどの生徒が体験したことのある競技であり、昨年度体育の授業でも生徒の課題に応じ「〇〇支援ルール」をみんなで考え、ボッチャを行った。今年度は、B班の生徒が健康福祉プラザ・ファインプラザ大阪との連携ということで、講師を招いてボッチャ講習会に参加する機会があり、正式なルールでのボッチャを体験することができた。したがって、体育の授業でもボッチャを取り扱い、昨年度以上にボッチャの楽しさや仲間との関わりを深められるようこの教材を設定した。

8. 指導観

本授業では、4チームに分かれゲームを行う。さらに、一人ひとりの課題に応じてゲームに参加できるようランプを使用しボールを転がす、アシスタントとして各チームに一人ずつ教員が入るなど、ゲーム内容を設定することで達成感を感じられるようにしたい。また、試合間にはチームで作戦を立てる時間を設けることにより、協調性やチームワークを十分に身につけられ、チームで協力しながら意欲的に学習に取り組むことができると考えた。

9. 単元（題材）の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
①基本的なルールを理解している。 ②ルールを理解し、練習やゲームに参加している。 ③ねらった場所へボールを投げたり、転がしたりすることができる。	①チームで簡単な作戦を立てている。	①積極的に練習やゲームに参加しようとしている。 ②友だちの良いプレーを褒めようとしている。

10. 単元の指導と評価の計画（全6時間、本時は第5時）

次	時	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
第一次	1	①チームわけ	①チームに分かれ、キャプテンを決める	①話しやすい環境をつくる	A① C① (行動観察・発言)
		②ルール説明	②ルールの説明を聞く	②縮小版コートや人形を使いルールを説明する	
		③早押しクイズ	③ルールをクイズ形式にし、ルールを理解しているかの確認をする	③理解しているか言葉かけをする	
第二次	2	①練習	①ルールを確認しながら投げる練習をする。	①実態に応じて支援をする	A①③ (行動観察)
	3	①練習	①ルールを確認しながら投げる練習をする。	①実態に応じて支援をする	A②③ (行動観察)
第三次	4	①ゲーム	①チームに分かれゲームを行う	①実態に応じて支援をする ②自分の課題を確認するよう促す	A③ C② (行動観察)
	5 本時	①ゲーム	①チームに分かれゲームを行う	①実態に応じて支援をする ②自分の課題を確認するよう促す	A③ C①② (行動観察・発言)
	6	①ゲーム	①チームに分かれゲームを行う	①実態に応じて支援をする ②自分の課題を確認するよう促す	A③ B① (行動観察・発言)

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ① 仲間の良いプレーを褒めることができる。
- ② 各自の課題に応じた方法でボールを投げるができる。
- ③ ゲームのルールを理解しゲームに参加することができる。

(2) 本時の評価規準

- ① チームメイトを応援したり、良いプレーに対して褒めたり、拍手したりしようとしている。
- ② 各自の課題に応じた方法で、ねらった位置にボールを転がすことができる。
- ③ ルールを理解し、攻め方や得点の取り方などを考えたり、チームで作戦をたてたりし、積極的にゲームに参加しようとしている。

(3) 本時で扱う教材・教具

- ・ ボッチャ、ランプ、カラーコーン、対戦表、ホワイトボード、CD

(4) 児童生徒の実態と本時の目標

(略)

(5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準（評価方法）
15分 導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整列 ・ はじめのあいさつ ・ 体操 「GUTS」の曲に合わせて体操をする ・ ランニング 「ピーチ」の曲に合わせて走る ・ 授業の説明 ルールを再確認しながら、今日のゲームの説明をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当番から挨拶をする人を決める。 ・ 音楽に合わせて、大きく、リズムよく身体全体を教員と一緒に動かすように声かけをする。 ・ 複数の生徒に対応できるような場所に立つ。 ・ ひとりで歩くことができる生徒と車椅子を使用している生徒に分けてランニングを行う。 ・ 走る組、待機組に分かれて対応する。 	
30分 展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゲーム (3セット行う) <u>車椅子の生徒の内容</u> ①ランプなど自分に合った補助具を選ぶ ②ジャックボールをめぐらしてボールを転がす <u>独歩の生徒の内容</u> ①ジャックボールをめぐらしてボールを投げる。 ・ 待機の生徒は、チームメイトを応援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先攻後攻や投げる順番をチームに分かれて決める。 ②自ら押すのが難しそうであれば教員が手伝う。 以下のような援助を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 肘を支える ・ ボールを一緒に押す ①見ることに困難さのある生徒に対しては、方向を言葉や指差しなどで伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ①チームメイトを応援したり、良いプレーに対して褒めたり、拍手したりしようとしている。(行動観察・発言) ②各自の課題に応じた方法で、ねらった位置にボールを転がすことができる。 (行動観察・発言) ③ルールを理解し、攻め方や得点の取り方などを考えたり、チームで作戦を立てたりし、積極的にゲームに参加しようとしている。 (行動観察・発言)

5分 ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整列する。 ・ 結果発表を聞く ・ 振り返りをする ・ 終わりのあいさつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体が見える配置になっているか確認する。 ・ 自分のチームの勝ち負けを生徒が感じられるように教員が言葉や身体で結果を伝える。 	
-----------------------	---	---	--

(6) 教室配置等 (正面を上にして、児童生徒や教員の位置、準備した教材・教具の位置、配置等を示す。)
(略)